

世代を越えた 連帯と創造

平成元年

「星の文化館」が開館 平成3年（星野）

時代が平成に変わってから、新しい地域のイベントが数多くスタートしました。平成元（1989）年には、星野村の村制100周年を記念して「九州和太鼓フェスティバル」、平成2（1990）年には、立花町で「第1回立花町観梅会」、平成5（1993）年には、上陽町で「全日本きんま選手権」、平成7（1995）年には、「万灯流し」が始まりました。

地域の文化や産業を紹介する施設もたくさんできました。星野村には、平成3（1991）年に、九州最大級の天体望遠鏡を備えた「星の文化館」、平成6（1994）年には、「茶の文化館」が開館し、平成7年、原爆の火を守る「平和の塔」が星のふるさと公園に建立されました。八女市には、平成8（1996）年に、「手すき和紙資料館」が開館しました。

産業では、昭和60（1985）年にスタートした立花町のキウイ栽培が、生産量日本一を誇るようになったことが挙げられます。平成2（1990）年には、「立花ワイン株式会社」が設立され、平成7年には宮内庁に献上されました。

平成5年には、矢部村で自然体験交流学校「おおそま自然塾」、平成6年には、黒木町で「山村塾」がスタートするなど、都市と農山村住民との交流によって地域の活性化を図る試みが始まりました。



全日本きんま選手権大会（上陽）



村制100周年記念企画として「第1回九州和太鼓フェスティバル」を開催 平成元年（星野）



「学びの館」（旧隈本家住宅）開館 平成4年（黒木）



杉の里自然体験交流学校「おおそま自然塾」開校 平成5年（矢部）



第1回上陽町万灯流し開催 平成7年（上陽）



八女市教育研究所開所式 平成元年（八女）



八女市平和の歌ができる 平成2年（八女）



天皇后両陛下、伝統工芸館をご視察 平成4年（八女）



平和の広場に「平和の塔」建立 平成7年（星野）



五木寛之氏初めての郷里講演 平成8年（立花）